

# 印象派 150 年 展覧会図録の世界

今から150年前の1874年4月15日、パリで第1回印象派展が開催され、印象派の芸術運動が始まりました。印象派、印象派を乗り越えていったポスト印象派、印象派に影響を与えた浮世絵、浮世絵を乗り越えていった新版画に関連する展覧会図録を紹介します。

芸術の秋に、魅力あふれる絵画・版画の世界を心ゆくまでお楽しみください。



## コレクション展

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
1	印象派：モネからアメリカへ：ウスター美術館所蔵	東京都美術館 [ほか] 編集 日本テレビ放送網	2024 -2025	開架   723.038  To46   118034422
2	Bührle collection : impressionist masterpieces from the E.G. Buehrle Collection, Zurich (Switzerland)	国立新美術館 [ほか] 編集 東京新聞, NHK, NHKプロモーション [ほか]	2018	開架   723.35  B85   118009884
3	プーシキン美術館展：旅するフランス風景画	マリーナ・ロシヤク [ほか] 執筆 朝日新聞社	2018	開架   723.35  P97   118011297
4	オルセー美術館展：印象派の誕生：描くことの自由 /Collections du Musée d'Orsay : naissance de l'impressionnisme : la liberté de peindre	国立新美術館, 読売新聞東京本社事業局 文化事業部編集 読売新聞東京本社	2014	書庫D   723.35  O71   110991099



## 印象派

印象派(印象主義)とは、1874年に開催された第1回印象派展において、クロード・モネ《印象日の出》を批評家ルイ・ルロワが揶揄した造語に基づく。フランスで起きた芸術運動で、それまで権威を持っていた宗教画や神話をモチーフにした絵画とは異なり、人々の日常生活や移りゆく自然の風景を描いた。19世紀にチューブタイプの絵具が発明されたことで戸外での制作が可能となり、目の前に広がる風景を感覚的に捉えることができるようになったことが印象派を生んだともいわれている。

主な画家は、カミーユ・ピサロ、エドゥアール・マネ、エドガー・ドガ、アルフレッド・シスレー、クロード・モネ、バルト・モリゾ、オーギュスト・ルノワールなど。

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
5	1874年・パリ(第1回印象派展)とその時代	国立西洋美術館編集 読売新聞社	1994	書庫D   723.35  K049   110530105
6	自然と人のダイアログ：フリードリヒ、モネ、ゴッホからリヒターまで：国立西洋美術館リニューアルオープン記念	陳岡めぐみ, 新藤淳 [ほか] 編集 国立西洋美術館, 読売新聞社, NHK [ほか]	2022	開架   723.3  K049   118034530
7	光の賛歌印象派展：パリ、セーヌ、ノルマンディの水辺をたどる旅/Impressionists at the Waterside:Depicting urban resorts:Paris,the Seine,and Normandy	東京富士美術館編集 東京富士美術館, 産経新聞社	2013	書庫D   723.35  To46   110986796
8	印象派の行方：モネ、ルノワールと次世代の画家たち/The Development of Impressionism:Monet,Renoir and the Next Generations	ポーラ美術館学芸部編集 ポーラ美術振興財団ポーラ美術館	2012	書庫D   723.35  P82   110977566
9	カミーユ・ピサロと印象派：永遠の近代/CAMILLE PISSARRO:Patriarche de la modernité	兵庫県立美術館 [ほか] 編 アルティス	2012	書庫D   723.35  P68   110980154
10	マネとモダン・パリ/Manet et le Paris moderne	高橋明也, 杉山菜穂子編 三菱一号館美術館, 読売新聞社 [ほか]	2010	書庫D   723.35  Ma43   110973658
11	ドガ展	読売新聞社	1976	書庫D   723.35  D53   110433166
12	シスレー展	アート・ライフ編集 アート・ライフ	2000	書庫D   723.33  Si9   110919703
13	モネ展：「印象、日の出」から「睡蓮」まで：マルモッタン・モネ美術館所蔵：Chefs-d'œuvre impressionnistes du Musée Marmottan Monet	東京都美術館, マルモッタン・モネ美術館 [ほか]編 日本テレビ放送網	2015	書庫D   723.35  Mo33   110995446
14	大回顧展モネ：印象派の巨匠、その遺産/MONET:L'ART DE MONET ET SA POSTÉRITÉ	セルジュ・ルモワンヌ [ほか] 編集 読売新聞東京本社	2007	書庫D   723.35  Mo33   110953247
15	パリ/マルモッタン美術館展：モネとモリゾ日本初公開ルノワール・コレクション	日本テレビ放送網 [ほか] 編 日本テレビ放送網	2004	書庫D   723.35  N71   110930786
16	Renoir : ルノワール展：オルセー美術館・オランジュリー美術館所蔵	国立新美術館 [ほか] 編集 日本経済新聞社	2016	書庫D   723.35  R27   110998467



## ポスト印象派

ポスト印象派(ポスト印象主義)とは、印象派に影響を受けながらも批判的に継承し、独自のモチーフや色彩、あるいは思想を描いた。名称は、1910年にイギリスの批評家ロジャー・フライが企画した展覧会名「マネとポスト印象主義者たち」に由来する。

主な画家は、ポール・セザンヌ、ポール・ゴーギャン、フィンセント・ファン・ゴッホ、ジョルジュ・スーラなど。

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
17	セザンヌ：近代絵画の父になるまで/Cézanne : pioneer of modern art	ポーラ美術館学芸部編 ポーラ美術振興財団ポーラ美術館	2015	書庫D   723.35  C29   110995459
18	セザンヌ・パリとプロヴァンス/Cézanne.Paris-Provence	国立新美術館, 日本経済新聞社編集 日本経済新聞社	2012	書庫D   723.35  C29   110981821
19	ゴーギャン展/Paul Gauguin	東京国立近代美術館編集 NHK, NHKプロモーション	2009	書庫D   723.35  G27   110968549
20	Van Gogh and Gauguin : reality and imagination	東京都美術館 [ほか] 編 東京新聞, TBSテレビ, 中日新聞社	2016	書庫D   723.35  G57   110999331
21	ゴッホ展：響きあう魂ヘレーネとフィンセント/Collecting Van Gogh : Helene Kröller-Müller's passion for Vincent's art	東京都美術館 [ほか] 編 東京新聞, TBSテレビ, 中日新聞社	2021	開架   723.359  G57   118024852
22	ゴッホ展：巡りゆく日本の夢	北海道立近代美術館 [ほか] 編集 北海道新聞社, NHK, NHKプロモーション	2017	開架   723.359  G57   118003756
23	ゴッホ展：没後120年/Van Gogh:The adventure of becoming an artist	クリス・ストルウェイク [ほか] 編集 東京新聞, 中日新聞社, TBS	2010	書庫D   723.35  G57   110971420
24	ゴッホ展：孤高の画家の原風景：ファン・ゴッホ美術館/クラレー・ミュラー美術館所蔵/Van Gogh in context	東京国立近代美術館 [ほか] 編集 NHK, NHKプロモーション, 中日新聞社	2005	書庫D   723.35  G57   110940566



## 浮世絵

「浮世」は当世の社会風俗の意。江戸時代、浮世絵は、遊郭や芝居を描いていたものがのちに役者絵や美人画、武者絵、風景画など当時の人間社会を表す多くの題材が描かれるようになった。版画は一色刷りから多色刷りの錦絵に発展し、西洋の近代絵画、特にフランスの印象派に大きな影響を与えた。

主な絵師は、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、葛飾北斎、東洲斎写楽、歌川国芳、歌川広重など。

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
25	広重・北斎とめぐるNippon：レスコヴィッチコレクション	伊藤京子, 河金俊子翻訳・編集 ジョルジュレスコヴィッチ財団	2019	開架   721.8  L56   118013071
26	浮世絵最強列伝：江戸の名品勢ぞろい：サンタフェ, リー・ダークスコレクション/Popular impressions : Japanese prints from the Lee E. Dirks collection	永田生慈監修, 岩切友里子編 日本経済新聞社	2018	開架   721.8  L51   118006822
27	北斎とジャポニスム：Hokusaiが西洋に与えた衝撃/Hokusai and Japonisme	袴田紘代, 池田祐子責任編集 読売新聞東京本社, 国立西洋美術館	2017	開架   721.8  Ka88   118006830
28	鈴木春信：ポストン美術館：浮世絵名品展	千葉市美術館 [ほか] 編集 日経新聞経済社	2017	開架   721.8  Su96   118005890
29	春信一番!写楽二番! フィラデルフィア美術館浮世絵名品展：錦絵誕生250年	あべのハルカス美術館 [ほか] 読売新聞大阪本社, あべのハルカス美術館	2015	開架   721.8  F27   118004847



## 新版画

新版画とは、大正時代初めに渡邊庄三郎が版元となって、衰退しつつあった浮世絵版画の伝統的な彫りや摺りの技術を継承しながら、新しい芸術性を求めた版画のこと。彫りはよりリアルな陰影表現を、摺りはざら摺りや空摺りなどの新しい技法によって素朴で味のある表現を確立した。

主な画家は、土屋光逸、吉田博、橋口五葉、川瀬巴水、エリザベス・キース、伊東深水、笠松紫浪など。

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
30	The 新版画：版元・渡邊庄三郎の挑戦	月本寿彦, アートワン編 アートワン	2022	開架   733.087  W46   118033046
31	新版画：進化系ukiyo-eの美：千葉市美術館所蔵	日本経済新聞社文化事業局 [ほか] 編 日本経済新聞社	2021	開架   733.087  C42   118022899
32	よみがえる浮世絵：うるわしき大正新版画展/Beautiful shin-hanga:revitalization of Ukiyo-e	東京都江戸東京博物館編 東京都江戸東京博物館, 朝日新聞社	2009	書庫D   721.8  E24   110967330
33	吉田博展：没後70年	吉田司, 藍畑啓二編 毎日新聞社	2019 -2021	開架   733  Y86   118019288
34	川瀬巴水展：郷愁の日本風景：生誕130年	千葉市美術館, NHKサービスセンター編集 NHKサービスセンター	2013	書庫D   733.08  Ka97   110986086